

貯蓄の状況

1 概要

(1) 全世帯の貯蓄現在高は 1688 万円

平成 14 年平均における全世帯の 1 世帯当たり貯蓄現在高は 1688 万円となっている。

年間収入は 683 万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、247.1%となっており、貯蓄現在高は年間収入の 2.5 倍となっている。

一方、勤労者世帯では、1 世帯当たり貯蓄現在高は 1280 万円となっており、全世帯を 408 万円下回っている。年間収入は 748 万円で、貯蓄年収比は 171.1%となっている。

表 1 年間収入及び貯蓄現在高

四 半 期	貯蓄現在高 (万円)	年間収入 (万円)	対 前 期 増 加 率		貯 蓄 年 収 比 (%)	(参 考) 生 命 保 険 を 除 く 貯 蓄 現 在 高 (万円)	対 前 期 増 加 率 (%)
			貯 蓄 現 在 高 (%)	年 間 収 入 (%)			
全世帯							
平成14年平均	1688	683	-	-	247.1	1241	-
1～3月期	1716	678	-	-	253.1	1244	-
4～6月期	1681	689	-2.0	1.6	244.0	1234	-0.8
7～9月期	1674	686	-0.4	-0.4	244.0	1240	0.5
10～12月期	1683	678	0.5	-1.2	248.2	1247	0.6
勤労者世帯							
平成14年平均	1280	748	-	-	171.1	893	-
1～3月期	1313	749	-	-	175.3	917	-
4～6月期	1249	757	-4.9	1.1	165.0	868	-5.3
7～9月期	1263	753	1.1	-0.5	167.7	877	1.0
10～12月期	1294	732	2.5	-2.8	176.8	909	3.6

(2) 約3分の2の世帯が平均貯蓄現在高未滿

全世帯について貯蓄現在高階級別（標準級間隔 200 万円）の世帯分布をみると、貯蓄現在高が 200 万円未滿の世帯が 13.0%と最も多く、約3分の2（68.0%）の世帯が平均値 1688 万円を下回り、世帯分布は貯蓄現在高の低い方に偏った分布となっている。なお、世帯全体を二分する貯蓄現在高の中位数は 1022 万円となっている。

また、勤労者世帯では 200 万円未滿の世帯が 15.4%と最も多く、67.5%の世帯が平均値 1280 万円を下回っている。

図1 貯蓄現在高階級別世帯分布

